

平成14年度2月補正予算について（追加分）

平成15年2月
宮 城 県

1 予算編成の考え方

今回の補正予算は、今議会当初提案後に確定した構造改革推進型公共投資に係る国直轄事業負担金などの追加措置のほか、人件費や県税交付金等の確定による減額措置など、例年最終補正予算で行っている歳出予算の執行額と国庫支出金等の歳入予算の確定に伴う計数整理を行うこととした。

なお、平成15年度以降の財源確保に配慮し、可能な範囲で財政調整4基金の取崩しを取りやめることとした。

2 予算規模等

以上の結果、今回の補正額は一般会計で約194億円の減、総会計では約230億円の減となり、補正後の予算額は、一般会計で約8,239億円（対前年度同期比6.3%減）、総会計では約1兆827億円（対前年度同期比5.3%減）となった。

3 歳入予算の主な内訳（総会計）

・ 県税	約 35 億円
・ 地方消費税清算金	約 41 億円
・ 国庫支出金	約 36 億円
・ 繰入金	約 132 億円
・ 県債	38 億円

4 歳出予算の主な内訳（総会計）

（経済対策）

・ ベンチャー育成ファンド組成事業	0.5 億円
・ 介護予防拠点整備助成事業	約 2 億円
・ 国直轄事業負担金（構造改革推進型公共投資分）	約 62 億円

（その他）

・ 仙台港背後地整備推進事業（センター地区等用地取得）	約 19 億円
・ 道路橋りょう事業（除融雪経費）	約 4 億円
・ 災害復旧事業（国直轄事業負担金）	約 15 億円
・ " "（現年災害補助事業分）	約 35 億円
・ 県税交付金等	約 76 億円
・ 人件費	約 55 億円